

舗装材料の製造間近で学ぶ

大成ロテックは、城南島リサイクルセンター（東京都大田区）と東京青海合材工場（同江東区）で、沖縄県立沖縄工業高校土木科の2年生25人と教員1人を対象に見学会を開いた。次代を担う若い世代に建設業の魅力や社会的

大成ロテック

役割を発信することを目的に、地域貢献・人材育成の取り組みの一環として実施した。

生徒たちは、アスファルト舗装の概要や舗装工事で使う材料が合材工場でのように製造されるのか、担当者から説明を受けた。

その後、工場の構内を見て回り、アスファルト合材の出荷の瞬間や、油圧ショベルといった建設機械が砕石を積み込む作業を間近で体感し、迫力ある現場の臨場感に目を輝かせていた。写真。

工場の設備や製造工程に関連する質問も多く飛び交い、現場の安全・品質管理、資源循環への取り組みなどについて、担当者の丁寧な説明に耳を傾けていた。

生徒からは「工場見学を通じて、現場で働く人の技術と責任の重さを実感し、土木の仕事に一層関心が高まった。将来はインフラを支える側に立ちたい」という思いが強くなった」との声が聞かれた。

